

日本共産党 山形市議団報告

2008年
5月11日
第1244号

第63回山形県中央メーデー

なくせ！貧困と格差、 ストップ！改憲、守れ九条

市議団全員が激励の訴え、集会・行進に参加

一日、霞城公園野外音楽堂で第63回山形県中央メーデーが開かれました。

集会前には、街頭から佐藤まさゆき衆院予定候補、渡辺ゆり子県議、党市議団三人それぞれが激励の訴えを行いました。

その後全員が集会・行進に参加しました。行進では趣向をこらしたプラカードで道ゆく人にアピールが行われ、とりわけ「生きるなというならもつと生きてやる」と書いた年金者組合の大きなポスターが目を引きました。後期高齢者医療制度への怒り、暫定税率復活への怒り、格差と貧困への怒りが広がるなかでのメーデーとなり、集会では「戦争をしない」「貧困がない」「安心安全」なもう一つの日本をめざす宣言が採択されました。



産業文教委員会

「最上川中流施設改修事業」間もなく完成

四月二十五日の産業文教委員会で、見学してきた最上川中流土地改良区が県とともに管理受託者となって行った「国営造成土地改良施設整備事業最上川中流地区」についての報告説明がありました。

山形市を中心とする村山盆地のかんがい用水として最上川よりの用水施設は、昭和六十一年完成以来、老朽化が進んでいるため、特に著しい部分の改修が国営事業として平成十五年度より行われてきました。

昨年度でほぼ終了しましたが、総事業費三〇億円のうち国が三分の一、県・市・地元が三分の一の負担で組合員の負担は一〇アールあたり約二千元ですが、改



良区では直接の負担がない形でとりくみを進めているとのことでした。

今野市議は、「当初の計画から、開発などで受益面積が減少している中で農家へのしわ寄せが大きくなっていないか。また、今回国が二〇億円の補助をする中で、市が大型工業団地の造成計画を進めていることとの調整はどうなのか」と質しました。

農村整備課長は、「二五五億円かけた昭和六一年には四七六〇ヘクタール、今回計画時の平成一五年は四二二〇ヘクタールで、以降も減少が進んでいるが、除外決裁金などで対応している。工業団地構想では、なるべく影響のない姿が望ましいが、これまでは（開発によって）補助金返還は一度もなかった」と説明しました。

日本共産党山形市議団
山形市小白川町四 一三 一五 電話(六四二)四三三三
メール 0236424318@ams.odn.ne.jp (六四三)三四三九
市議会議員 高橋か一郎 (六八四)九八三二
今野 誠一 船町一六 (六八四)八六四〇
佐藤あき子 青田一七・三六A (六四二)八六四〇
ホームページ: <http://www2.odn.ne.jp/jsc-jmrsaliv/>

憲法記念日の街頭宣伝 憲法を考える山形集会

三日の憲法記念日には、渡辺ゆり子県議や佐藤まさゆき衆院予定候補とともに、市内四カ所で街頭宣伝を行い（写真）、イラクでの自衛隊の活動を意見とした名古屋高裁判決が確定したこと、全国で七千を超えた「9条の会」の草根の運動で世論が逆転したことなど平和の問題、そして後期高齢者医療制度に代表される福祉の後退が命をも奪っている、生存権の問題などについて訴えました。

その後、遊学館で行われた「憲法を考える山形集会」に参加し、高木統一前山大教授の講演や、パネルディスカッションで、貧困の実態について、憲法について理解を深めました。



無料法律相談会

毎月原則第2土曜日に行っています。日本共産党山形市議と弁護士が応じます。お気軽にご相談ください。

次回相談会 5月10日(土曜日)
6月14日(土曜日)
午前10:00~12:00

会場 日本共産党村山地区委員会事務所2階
山形市小白川町4-13-15
電話 642-4313